

I 学校教育目標

みずから真実を求め、新しい道をさぐり、

正しく自己を実現できる生徒の育成

【三つの資質】 豊かな心 学ぶ意欲 たくましい心身

目指す生徒像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> ・素直で 心優しい生徒 ・よく考え よく学ぶ生徒 ・ねばり強く やり抜く生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら心を開き、生徒との人間的なふれ合いに努める教師 ・やる気を引き出す、よくわかる授業づくりに努める教師 ・共感する心と毅然とした態度で指導・支援に努める教師

II 今年度の学校運営方針

1 生徒・保護者・地域に信頼される学校づくり【学校運営】

教職員一人一人が公教育の役割を自覚し、日々研鑽に励むとともに、教育公務員としての服務規律の遵守に努め、信頼される学校を築く

2 教職員の協働体制による学校づくり【教育活動】

学校教育目標の実現を目指し、全教職員が英知を結集し、組織力を生かした協働体制でその具現化に努める

3 教職員と生徒・保護者・地域が一体となった学校づくり【保護者・地域等との連携】

全ての教育活動を通して、教職員はもとより、生徒・保護者・地域が、学校教育目標の達成に向けた連携を深める

Ⅲ 今年度の学校運営方針の具現化を目指して・・・

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校

子どもの声を聴き、受け止め、応える

※子どもの声とは・・・子どもの思い、考え、願い、困り、悩み

【スローガン】 「学校運営方針」の具現化の目安となる生徒の姿

さわやかな挨拶とひびき合う言葉

笑顔いっぱい 稲陵大好き！

【具体的な方策】

1 人間尊重の教育

- (1) 子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり
- (2) 「みんな違う」を原点とし、多様性を受け入れ、認め合う関係を醸成する

2 学ぶ力の育成

- (1) 課題探究的な学習
- (2) 基礎学力の定着のための家庭学習の充実
- (3) 妥当性と信頼性のある評価

3 豊かな心・健やかな体の育成

【豊かな心の育成】

- (1) 相手、時、場所を選ばず、自分から進んであいさつができる生徒の育成
- (2) 不登校の未然防止と初期対応
- (3) 生徒理解、生徒指導に関わる情報の共有

(4) 命を大切にする指導の充実

【健やかな体の育成】

- (1) 運動の楽しさに触れることを重視
- (2) 授業以外で、子どもの運動機会を創出する取組
- (3) 健康の保持・増進

4 特別支援教育の充実

- (1) 校内学びの支援委員会の充実
- (2) 通常の学級に在籍する「配慮を要する生徒」への対応
- (3) 特別支援学級と通常の学級の教師間交流
- (4) インクルーシブ教育システムの構築

5 いじめを生まない学校づくり

- (1) 本校の「いじめ防止基本方針」を全教職員で共有
- (2) 生徒と信頼関係を築き、「いじめを生まない・許さない」指導の徹底
- (3) 組織的な対応の徹底

6 家庭や地域とともにある学校づくり

- (1) 札幌らしいコミュニティ・スクール（CS）の仕組みづくり
- (2) 信頼される学校の創造